

## 1 2 農業の競争力強化について

(財務省、農林水産省)

### 【内容】

- (1) 畜産の収益力・生産基盤を強化し、攻めの畜産業への転換を図るため、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業に要する経費について十分な予算を今後も継続して確保するとともに、名古屋コーチンを始めとした県産ブランド畜産物の生産供給体制の整備に係る国の支援を強化すること。  
また、水田・畑作・野菜・果樹等の産地の生産力向上を図るため、産地パワーアップ事業等の予算を今後も継続して確保すること。
- (2) 水田農業の担い手の経営安定を図るため、経営所得安定対策等において、飼料用米、麦、大豆等の数量払い制度及び交付単価を引き続き維持するとともに、特に水田活用の直接支払交付金については、十分な予算を確保すること。  
また、生産者等が需要に応じた米生産が行えるよう、適時適確な情報提供をすること。
- (3) 農地中間管理事業の円滑な実施のため、機構集積協力金等について、事業の確実な実施に必要な財源を確保すること。また、「農地中間管理事業の推進に関する法律」附則において施行後5年を目途として行う財政措置の見直し、事業の在り方全般の検討については、利用者等の意見を十分に反映させること。
- (4) 野菜や花きを始めとする先進的な農家経営に対応する農業技術・品種の研究開発を進めるため、県が行う試験研究への支援を拡充すること。
- (5) 国際水準のGAP認証取得に必要な経費の継続的な助成など、GAPの普及拡大に向けた支援を強化すること。
- (6) 鳥獣被害防止対策を一層進めるための捕獲に対する支援を強化すること。

### (背景)

- 日EU・EPA等の経済連携協定等の進捗状況によっては、国内農業への影響が懸念されることから、その情報収集及び提供を行うとともに、農業の競争力を強化し、常に備えておく必要がある。畜産分野においては生産基盤の弱体化が懸念される中、畜産農家と関係業界が結集した畜産クラスターによる高収益型畜産の実現のために、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業による支援が引き続き必要である。また、本県ではブランド化や生産性の向上を推進しており、名古屋コーチンなどの優良種畜の生産供給体制の整備に「強い農業づくり交付金」等の支援が必要である。

また、平成27年度補正予算で創設された「産地パワーアップ事業」について、今後とも産地の高収益化に向けた取組を支援するため、基金を積み増しする予算確保を継続するとともに「強い農業づくり交付金」の予算を確保する必要がある。

- 経営所得安定対策等における水田活用の直接支払交付金では、主食用米の需給のバランスを図るため、今後とも、飼料用米や転作作物等の推進が必要であることから、担い手の所得を確保できる現行の助成制度が継続される必要がある。

また、産地交付金は28年度から当初配分が4月と10月の2回となったが、28年度は10月の配分がなくなり、29年度は二毛作助成と耕畜連携助成がなくなる。このような短期間での制度変更により、担い手は所得が減少するだけでなく、中長期的な視点で経営計画を立てることができず、現場では混乱が生じている。

生産者等が必要に応じた米生産に取り組むためには、生産者等では把握しにくい全国ベースの需給見通しや産地別の需要実績等についてのきめ細やかでわかりやすい情報提供が必要である。

- 平成26年に施行された「農地中間管理事業の推進に関する法律」の附則において、「法律の施行後5年を目途として、農地中間管理事業及びこれに関連する事業に関し、その実施主体、これらの事業に対する国の財政措置の見直しその他のこれらの事業の在り方全般について検討を加え、その結果に基づいて必要な法制上の措置その他の措置を講ずる」としているため、国が評価・検証を行うにあたり、利用者や市町村、都道府県並びに関係団体等の意見を踏まえた上で検討を進める必要がある。
- 公募型試験研究については、研究期間は3年以内（一部5年以内）と短く、中長期的な展望に基づく研究開発の実施が困難になっている。新品種の開発等には、国と県の研究機関において、長期間にわたる戦略的な連携を充実させる必要がある。
- 認証付きGAPが普及定着しない理由の1つは、取得費用が個人負担となることにある。国際水準のGAP認証では、高額な取得費用を要するため、取得を希望する農家への継続的な支援を講ずる必要がある。
- 農業への被害が深刻化する中、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に基づき、本県の「第二種特定鳥獣管理計画」で改定した捕獲目標数を着実に遂行するため、獣害対策を強化する必要がある。

( 参 考 )

◇ 本県分の各事業費交付決定額及び配分額 (単位：百万円)

事業名	H26 補正	H27 当初	H27 補正	H28 当初	H28 補正	H29 当初	計
畜産クラスター	343	39	1,434	—	962	—	2,778
産地パワーアップ (上段：基金、下段：国直採事業)	—	—	949	—	1,233	—	2,182
	—	—	—	—	453	—	453
強い農業づくり交付金	464	—	—	351	—	87	902
計	807	39	2,383	351	2,648	87	6,315

◇ 愛知県内のGAP取組件数 (単位：経営体及び産地)

GAPの種類	米	麦・大豆	野菜	果樹	花	茶	計
認証あり (GLOBAL G.A.P. 等)			5		2	7	14
認証なし (愛知県 GAP 等)	19	27	69	17		4	136
計	19	27	74	17	2	11	150